

2017年活動報告 Jazz Live & オーディオコンサート 10月1日(日)



第1部 ジャズ・ライブ

開場1時・開演1時半。嬉しいことに12時半過ぎにはお客様が列をなし、アビスタ担当者から整列させて下さいとの注文が出る始末。電話問い合わせが今回はいつになく多くて予想はしていたが、開演1時半には用意の椅子150席は埋まる。

定刻1時半、JAZZトリオが颯爽と登場。メンバーは既に気合十分で早速演奏開始。スタンダードからオリジナルまで休憩を挟んでの90分。変幻自在、心にしみるベース、リリカルなピアノ、熱いドラム。40代、30代、20代それぞれ後半のトリオ。熱気あふれる演奏で流石一流プロの演奏は凄い！

第2部 オーディオコンサート

普段ならライブが終わると潮が引くようにお客様が減っていくのだが、今回は大勢残って下さる。

前半:市村会員 自作パワーアンプ300Bsモノアンプ2台。次いでVT-62pp2chアンプ。プリアンプは5687ppモノアンプ2台と豪勢なもの。VT-62メインアンプは力強く雄渾な音で格は段違い。しかも鳴らしこんで行くうちに更に充実した音に変化していく。

後半:出口会員 LPレコードの高音質アーカイブ化がテーマ。改良したDSDレコーダーでの再生音とLPレコード再生を聴き比べるもの。アンプは市村会員のVT-62pp2chを使用する。細部まで追い込んだDSDレコーダーの音は驚くべき水準。これならLP再生の儀式はもういらぬ。



中央学院大学 あびこ祭
10月29日(日)

我孫子が本拠地だけに力が入っており学生課、教授、実行委員などサポート体制は格段のもの。割り当て場所・6号館はメイン会場、我がブースはエスカレーターで上がると直ぐの好立地。エレベーターもあり、搬入は容易、机・椅子も実行委員の手により予め全て撤去してある。機器類は前回と同じパターンで調整は容易。

当日はなんと、まさかまさかの台風……。

川村学園女子大学
学園祭「鶴雅祭」10月21日(土)

展示品はギャラリィからお借りした、スイス製オルゴール、エジソン蝋管式蓄音器、エジソン縦振動型蓄音器、フランス製蓄音器、SPレコードなどの貴重品。小笠原会員自作蓄音器。LPプレーヤー、CD、PCオーディオなどハイレゾ製品。

当日はまさかの秋台風で朝から大雨。キャンパスのテントは空っぽ。女生の甲高い声もまばら……。

※古典音響機器ギャラリィ(牛久市)
学生に音楽再生の歴史を学ぶ機会を作ろうと考え、イベント担当夏原理事がギャラリィ中鉢会長に機器の貸し出しを打診。技術系譜の教育に資するならばと、二つ返事でご承諾頂いた。貴重な機器は見て触って聴いて感じて下さい……。今の機械はブラックボックス化しており、見えないのですから……。

これが経緯で、それぞれの催しに参加することになった。

「市民の子カラまつり」
うなきちルームコンサート
11月25日(土)

3度目の正直で抜けるような青空。我孫子市で一番高い標高のブース(けやきプラザ11階)からの眺望には何時もながら惚れ惚れする。

午前10時、出足は好調。定員30名の椅子は満席。古典音響機器は、オーナー中鉢博ギャラリィ会長さんの説明。流石に掌中の珠を紹介するが如く。歴史から機械の有様までキラキラ光る眼でお話される。

満席30名のお客様は食い入るように聞いていらつしやる。午後からは星野市長が来場され、熱心に中鉢さんのお話を聞いておられた。

この日は「井上家土蔵SPレコードコンサート」と重なり、人練りが懸念されたが双方に会員が多数応援参加して乗り切った。9月1日の「スカイラインコンサート」から切れ目なく続いたイベント6回は、全て終了。

イベント担当夏原・技術担当鳥居両理事の努力で、嘗て経験のないハードスケジュールを乗り切った。

記事執筆 脇田隆夫



この日は「井上家土蔵SPレコードコンサート」と重なり、人練りが懸念されたが双方に会員が多数応援参加して乗り切った。



各記事の詳細は、HPでご覧いただけます。

事務局より